

鹿島少年自然の家の令和2年度管理状況

様式2

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
施設管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 上出 孝之
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
中期経営目標 (H29～R3)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数を5年間で4%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	<p>職員の資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県青少年教育施設協議会主催の資質向上研修会の受講 ・利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用団体アンケートの実施 ・利用者ニーズの反映（水分補給場所の追加提供等） <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理プログラムなど10事業実施（参加者数300人） <p>体験活動プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋チャレンジプログラムの実施（参加者数2回/16人） ・子ども自然学校の開催（参加者数16プログラム433人）
② 広報活動	<p>施設の情報提供・広報・広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業広報用及び自主事業のリーフレットを作成し、中能登地区の他、かほく、内灘、津幡の小学校に配布。 ・近隣の小・中学校を訪問し、季節に応じた利用の提案（夏合宿、スキー体験等） ・近隣の公民館や老人団体等の一般団体を訪問し日帰りでの利用を提案。

(2) 令和3年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験を通してSDGsについて学習するため、新たに「SDGsエコキャンプ」を実施する。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H27年度 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	前年度 比	基準値 比	R3年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	13,697人	14,278人	12,999人	4,649人	35.8%	33.9%	14,250人
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	.0 ^{ポイント}	.0 ^{ポイント}	95.0
施設の維持管理 (%)	97.2	100.0	97.6	100.0	2.40 ^{ポイント}	2.80 ^{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	令和2年度の利用者数は4,649人、対前年度比35.8% (▲8,350人) となった、新型コロナウイルスの影響で、臨時休館(4/24~5/22)したことや、団体利用が大幅に減少したことに加え、学校の夏休み短縮などが影響した。	対基比は34% (▲9048) 新型コロナウイルスの影響で、臨時休館(4/24~5/22)したことや、団体利用が大幅に減少したことに加え、学校の夏休み短縮などが影響した。

<利用者アンケート結果> (通年実施(臨時休館4/24~5/22))

(有効回答数 利用者サービス81件、施設の維持管理73件)

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	90.1	9.9	0.0	0.0
施設の維持管理 (%)	75.3	24.7	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃：毎日1～2回 ・ 特別清掃(害虫駆除)：年1回 ・ 浴場配管清掃：年1回
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気設備：年6回 ・ 消防設備：年2回 ・ 給排水衛生設備：年6回 ・ ルーター保守：通年
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務として建物周辺管理
(4) 警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設全体の警備(常駐(宿泊者がある場合)夜間警備、巡回警備等)及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明器具取替修繕 ・ 大浴場シャワー取替修繕 ・ 公用車修理 など

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症に対する危機管理として、宿泊施設に関する業界団体ガイドライン等に基づいて対応 ・ 基づき、対応マニュアルを共通理解 ・ 緊急連絡網、消防計画、危機管理マニュアル作成 ・ 避難訓練の実施 年2回
(2) 個人情報の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本協定(個人情報の取扱いに係る特記事項)に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
鹿島少年自然の家	126	0	
合計	126	0	

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
食事料	2,770		
寝具料	124		
暖房料	49		
スキー用具料	5		
合計	2,948	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	37,540	人件費	26,862
利用料収入	2,948	光熱水費	2,377
その他	1,329	修繕費	875
		その他	11,735
合 計 ①	41,817	合 計 ②	41,849
収支差額 ①-②	-32		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
	なし	

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	なし	

8 その他報告事項など

・なし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県主催の事業に加えて、小学生向けの自主事業を実施し、近隣学校・公民館・スポーツ団体等を対象に施設利用について積極的に広報活動を行った。 ・ 料理プログラム等の事業の企画・実施により、日帰り団体の利用増を目指した。 ・ 利用アンケートにおける満足度は目標値を上回った。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全性を考慮し、施設の修繕等に積極的に対応している。 ・ 施設内は清潔に保たれており、適切な管理が行われている。また、新しい生活様式に応じた具体の対策を講じている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。野外炊飯やいかだ体験では必要に応じて施設職員が活動補助を行っている。 ・ 大学生等のボランティアを積極的に受け入れ、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。 ・ 利用者の食物アレルギーに応じた除去食の提供など利用者のニーズに応えるべくきめ細かな対応をとれる体制をとっている。また、ハラールメニューやきざみ食、ミキサー食の提供も行う。 ・ 非常時の連絡体制や消防計画などが定められ、安全対策が適切である。 ・ 個人情報保護のため書類はダイヤル錠で施錠できる棚で管理している。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、施設利用のPRや利用者満足度の高いサービスの提供に積極的である。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--